

# 豊中市立文化芸術センター

プレスリリース



**日時：2019年3月1日（金）—3月2日（土）**

**会場：豊中市立文化芸術センター 小ホール／展示室**

**出演：久保田テツ、やんツー、塚原悠也（contact Gonzo）**

**中川賢一、田畑真紀、マルガサリ、ガムラン OMOIDE**

**ギター・クンチャナ、後藤龍伸、三輪真弘、野村誠（順不同）**

**【本リリースに関するお問合せ先】**

豊中市立文化芸術センター（豊中市市民ホール指定管理者）

担当：井上

電話：06-6864-3901（代表 | 9:00～20:00 | 月曜休館）

FAX：06-6863-0191 E-mail：info-bungei@toyonaka-hall.jp

# 豊中市立文化芸術センター

プレスリリース

豊中市立文化芸術センター発。

現代的な音楽、アート、コンセプトで挑む、今を生きるアーティストたちによる狂演。  
音楽の本質に迫る、3つのトランス



TOYONAKA ARTS TRIBE

TRANSIENCE  
MUSIC FESTIVAL 2019



## TOYONAKA ARTS TRIBE 始動

デジタル化された音楽や映像を、ネットを介して誰もがどこでも気軽に見ることができる時代。レコードやディスクではなく、ストリーミングで配信された音楽は、CDなどの物体がないままに消費され、ヘッドホンから流れる音楽は個人の世界のみで流れます。これは、音楽そのものの価値・存在が変化してきていると言えるでしょう。

そんな時代だからこそ、一つの作品を他者と共有しながら同空間で体感するという行為は、これまで以上に「特別」なものとなってきているのではないのでしょうか。

2019年より始動する豊中市立文化芸術センターのプログラム“TOYONAKA ARTS TRIBE”は、アーティストとオーディエンスが作り出す空間・時間に注目し、今を生きるアーティストの作品上演の中でこの「特別」な空間を作り出す、豊中市立文化芸術センターの挑戦的プログラムの総称であり、このホールでしかできない事、体感できない時間を創造します。

常に時代を読み、「今」にスポットをあてた作品を紹介していきます。それは、音楽や演劇、ダンスなどカテゴリーにとらわれない作品を、一過性ではなく継続して発信します。

# 豊中市立文化芸術センター

プレスリリース



## TRANCE MUSIC FESTIVAL 2019 とは…

TOYONAKA ARTS TRIBE 最初の船出となる「TRANCE MUSIC FESTIVAL2019」は TRANCE をテーマに、音楽を主体とした3つの視点から迫ります。音はもちろんの事、その場の空間、時間、身体など様々な素材が反応して作り上げられるプログラムを通して、「音楽とは何か」その本質に迫ります。

2日間にわたって開催するのは、3人のプログラムディレクターによるそれぞれのトランス。

まず前夜祭として「PRE TRANCE」に挑むのは、同じ豊中市にある大阪音楽大学でも教鞭をとる久保田テツ。クラブミュージックにスポットをあてた一夜限りの空間・時間をつくります。

翌日は、「フェラーリのピアノ曲を堪能する！」など、挑戦的なプログラムに全国各地で取り組むピアニスト、中川賢一による「現代音楽×ダンス 中川賢一ピアノリサイタル」と、今最も精力的に活動する作曲家であり、情報科学芸術大学院大学（IAMAS）の学長でもある三輪眞弘による「ガムラン宇宙ミーティング」を開催します。前者では、フェラーリの作品はもちろんの事、20世紀以降の作曲家から意欲的なプログラムを選出し、ダンサーの田畑真希と共に、観客を熱狂と興奮の TRANCE の世界に誘います。後者は、「ありえたかも知れないガムラン」をテーマに、伝統的なジャワガムランの古典曲から作曲家 野村誠の作品、三輪眞弘の新作など、多彩なガムラン音楽を上演します。

それぞれ、クラブミュージック、クラシック音楽の流れをくむ現代音楽、ガムラン（民族）オングクの3つの視点から迫る「TRANCE」。一度きりの出会いと興奮をお楽しみいただける特別プログラム。新しい音楽とアートの世界、現代を代表する日本のアーティストが集う2デイズ。魅惑の TRANCE の世界へ。皆様をいざないます。

「人は、なぜ音楽を聴くと感情を突き動かされてしまう事があるのでしょうか。

あるインドの村に伝わる祭りでは、50名程度の人間が太鼓をたたき、ラッパを奏する。

すると、そこにいる人々は次第にトランス状態にはいっていき、リズムと音で人は踊り狂ってしまう。

人の中に内在する「何か」が我々を突き動かす…その正体は一体何なのでしょう。

一人ではなく、その空間を共有する人間が「トランス」する行為は、まさに神の御業なのかもしれません。

TOYONAKA Music Tribe 最初の船出となる今回は、この「トランス」をテーマとします。

その「何か」の正体とはいったいなにか。「トランス」の先に見えるものはなにかー

# 豊中市立文化芸術センター

プレスリリース

## 各公演紹介

### クラブミュージックの TRANCE 「PRE TRANCE」

日時 | 2019年3月1日(金) 19:00 開演 (18:30 開場)

会場 | 豊中市立文化芸術センター 展示室

参加アーティスト | やんツー、塚原悠也 (contact Gonzo)

西川文章 (音響エンジニア)

和泉希洋志

ドットアーキテクト

プログラムディレクター | 久保田テツ

内容 | 現代において、おそらく多くの人々が「音楽による TRANCE」として頭によぎるのがクラブミュージックではないでしょうか。

今回前夜祭として実施する PRE TRANCE では、「トランスクラブ」と題して、このクラブミュージックにスポットをあてた一夜限りのイベントを行います。クラブ的な空間を成立させる要素を「音・光・運動」とし、その具現化に向けたアーティスト、音響設計家、DJ を招聘して開催します。ダンサーで即興パフォーマンスやインスタレーションを行う contact Gonzo のメンバーの塚原悠也による映像作品(新作!)と、第15回文化庁メディア芸術祭アート部門において新人賞を獲得したメディアアーティストのやんツーのインスタレーションそして DJ によって送り出される選曲。

さらに、空間設計に第15回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展で審査員特別賞を受賞した経歴を持つ、建築設計、アートプロジェクトなどマルチに活動を行うドットアーキテクトの参加が決定。また、音響エンジニアに西川文章とこれから豪華な布陣によって、市民のための文化センターが数時間だけのクラブに変化します。

豊中に集う最先端のアート空間を堪能できる、究極のスペシャルプログラム。会場近くのコンビニで飲み物を調達して、いざトランスクラブにお越し下さい!!



やんツー

©松見拓也



塚原悠也

©Shiga Lieko

# 豊中市立文化芸術センター

プレスリリース

## 各公演紹介

### 現代音楽×ダンスの TRANCE「中川賢一ピアノリサイタル」

日時 | 2019年3月2日(土) 14:00 開演 (13:30 開場)

会場 | 豊中市立文化芸術センター 小ホール

出演 | 中川賢一(ピアノ)、田畑真希(ダンス)

プログラムディレクター | 中川賢一

内容 | 一般的に「難しい」「わからない」などネガティブな印象が付きまってしまう現代音楽その概念を根底から覆す狂熱のコンサート。

電子音と生音の競演。半ば暴力的なグルーブを感じさせるフェラーリの曲、ミニマルの原点ライヒの《ピアノ・フェイス》、宇宙的なサウンドのハーヴェイ《メシアンの墓より》。オランダのアーヴェンポップの作曲家で、ヨーロッパで最も活躍している作曲家の一人ヤコブ TV による《The Body your Dream》は、繰り返される言葉とピアノのシンクロが非常にユニークな作品です。その他、リュック・フェラーリの《失われたリズムを求めて》と《即興の練習》、リゲティの《悪魔の階段》など TRANCE をテーマとしたピアノ+α作品。普段の“ピアノリサイタル”とは一味も二味もちがうクラシックコンサート。そして、ダンスとの協演も楽しみなところ。

狂乱の現代音楽×ダンスの世界へ。中川賢一と田畑真希が誘います。

曲目 | S.ライヒ：ピアノ・フェイス

L.フェラーリ：失われたリズムを求めて

L.フェラーリ：即興の練習

J.ハーヴェイ：メシアンの墓より

ヤコブ TV：The Body of your dream

G.リゲティ：ピアノのための練習曲集より第13番「悪魔の階段」

武満徹：ゴールデンランパー 他

※曲目は予告なく変更になる場合がございます。



中川賢一

©Shuhei NEZU



田畑真希

©松本和幸

# 豊中市立文化芸術センター

プレスリリース

## 各公演紹介

### 民族音楽の TRANCE 「ガムラン宇宙ミーティング」

日時 | 2019年3月2日(土) 17:00 開演 (16:30 開場)

会場 | 豊中市立文化芸術センター 展示室

出演 | マルガサリ、ギター・クンチャナ、カマガムラン OMOIDE (釜ヶ崎芸術大学)  
後藤龍信 (ヴァイオリン)

プログラムディレクター | 三輪眞弘

内容 | ジャワガムラン、バリガムラン、ありえたかも知れないガムラン…。インドネシアの宇宙観を反映した音楽構造をもつこの伝統的な音楽に、昨年度佐治敬三賞を受賞したことでも話題となった「モノログオペラ《新しい時代》」の作曲家・三輪眞弘が挑む新作が注目作。さらに、ヴァイオリンとバリガムランによる唯一無二の野村誠《ルー・ハリソンへのオマージュ》ほか、古典曲から釜ヶ崎芸術大学でつくられた新作まで、様々なガムランが一堂に会する伝説の一夜。

展示室がガムランを感じる宇宙空間となる。

曲目 | 野村誠：ルー・ハリソンへのオマージュ～ヴァイオリンとバリガムランのための四重奏曲～

三輪眞弘：新作初演

ジャワ古典曲、カマガムラン OMOIDE による新作 他



三輪眞弘



マルガサリ



カマガムラン OMOIDE



ギター・クンチャナ

# 豊中市立文化芸術センター

プレスリリース

## 公演詳細

### TOYONAKA ARTS TRIBE

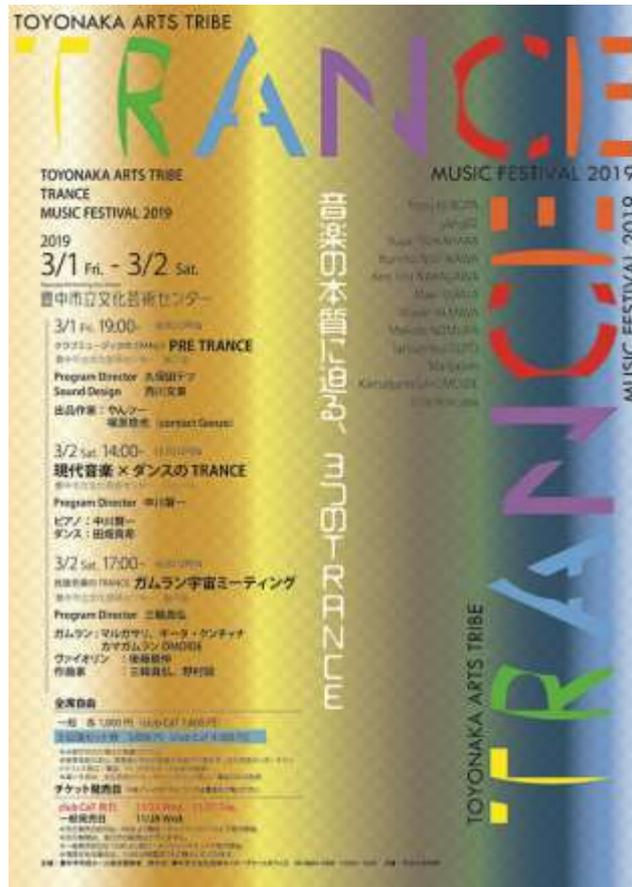
### TRANCE MUSIC FESTIVAL 2019

日時 | 2019年3月1日(金)～3月2日(土)

- |                    |                            |
|--------------------|----------------------------|
| ①クラブミュージックの TRANCE | 3月1日(金) 19:00 開演(18:30 開場) |
| ②現代音楽×ダンスの TRANCE  | 3月2日(土) 14:00 開演(13:30 開場) |
| ③民族音楽の TRANCE      | 3月2日(土) 17:00 開演(16:30 開場) |

会場 | ①豊中市立文化芸術センター 展示室  
②豊中市立文化芸術センター 小ホール  
③豊中市立文化芸術センター 展示室

料金 | 全席自由 各 1,800 円 (club CaT 1,600 円)  
3公演セット券 5,000 円 (club CaT 4,500 円)



#### 【本リリースに関するお問合せ先】

豊中市立文化芸術センター（豊中市市民ホール指定管理者）担当：井上

電話：06-6864-3901（代表 | 9:00～20:00 | 月曜休館） FAX：06-6863-0191

E-mail：info-bungei@toyonaka-hall.jp